

<シェリル・メイナー大佐の 2020 年 12 月 6 日のビデオメッセージ>

神様は、救い主キリストを送ることによって、人類の歴史に介入してくださいました。救い主の誕生は、世の権力者に対してではなく、世間の誰も知らない二人の女性に知らされました。エリサベツは高齢の不妊の女性で、夫は神殿に仕える祭司でした。旧約聖書の最後の書、マラキ書が書かれてから 400 年間、イスラエルに預言者は遣わされることがなく、神は沈黙しておられました。しかし、救い主が来る時に、それを予告する預言者が現れる、と聖書に記されています。その預言者、バプテスマのヨハネの母にエリサベツはなったのです。祭司である夫ザカリヤが神殿で仕えていると、天使ガブリエルが現れて、エリサベツの懐妊を告げました。ザカリヤはそれを信じるできませんでした。このため天使は、その子が生まれるまで、あなたは口がきけなくなる、と言いました。天使の言葉の通り、エリサベツは身ごもったのです。マリアもまた世間の誰も知らない若い女性でした。しかし神はマリアの心を知っておられました。天使の知らせに対するマリアの応答がルカ 1:38 に記されています。「わたしは主のはしためです。お言葉とおりの身に成りますように」エリサベツもマリアも謙虚に神様の言葉に従いました。エリサベツは子どもが与えられるよう長年祈ってきましたが、祈りはかなえられませんでした。にもかかわらず、彼女の信仰は弱まることにならなかったのです。彼女の生涯を見ると、神は、神の時に、神の方法で、祈りに応えてくださることがわかります。マリアが天使から知らされたのは、結婚していないのに母になるという、人生を大きく左右する出来事でした。しかし彼女も謙虚に神様の言葉に従いました。神様は、わたしたちの見かけではなく、心を見ておられます。神様は救いと贖いを世界にもたすために、この二人の女性をお選びになりました。二人は信仰と謙虚さをもって神様の知らせを受け取り、それを喜びました。本当の信仰とは、神の前で自分が何者であるかを、わきまえることです。世界がまだキリストを知らなかった時代にあつて、エリサベツとマリアは神様の計画を信仰をもって受け取りました。神様は、あなたにも計画を持っておられます。どうか、あなたもその知らせを受け取り、神の計画があなたの人生において実現しますように。